

## ◆ロマン派からヴィクトリア朝時代まで

## 〔イギリス文学史Ⅱ〕

金曜日2時限

オープン受講：不可

- ◆学修到達目標 イギリス文学において様々な作家と作品を知り、それをきっかけとして具体的に各作品を各自能動的に読み、鑑賞できるようにする。
- ◆授業方法 プリントを用い、参考書の助けも借りて、それらを基にすすめていく。
- ◆準備学修 授業計画を見て、翻訳でもいいので、各作品を実際に読むとよい。
- ◆履修条件 前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆授業計画 (各 90 分)

1回目	18世紀の英文学概観	9回目	George Eliot Middlemarch
2回目	WordsworthとColeridge	10回目	George Meredith The Egoist
3回目	John Keatsについて	11回目	Thomas Hardy Tess
4回目	Jane Austen Pride and Prejudice	12回目	Henry James The Portrait of a Lady
5回目	Charlotte Bronte Jane Eyre	13回目	Joseph Conrad Heart of Darkness
6回目	Emily Bronte Wuthering Heights	14回目	Oscar Wilde The Picture of Dorian Gray
7回目	Charles Dickens Oliver Twist	15回目	試験
8回目	Thackeray Vanity Fair		

- ◆教科書 当日資料配布
- ◆参考書 なし。
- ◆成績評価基準 試験(70%) 平常点(30%) 皆出席を前提にして評価する。

**注意**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24171999 日大通子」  
 ＊授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。